

テーマ：2012年1-3月期GDP（2次速報値）の予測
～ 前期比年率+4.4%への小幅上方修正を予想 ～

発表日：2012年6月1日（金）

第一生命経済研究所 経済調査部
主席エコノミスト 新家 義貴
TEL：03-5221-4528

6月8日に内閣府から公表される2012年1-3月期実質GDP（2次速報）は、前期比年率+4.4%（前期比+1.1%）と、1次速報段階の前期比年率+4.1%（前期比+1.0%）から小幅上方修正されると予想する。設備投資と公共投資の上方修正が影響する。

もともと、修正幅は小さく、景気認識に修正をもたらすものにはならないだろう。個人消費と公共投資という、政策効果に押し上げられた内需が景気を支えるという構図も1次速報段階から変わらない。1-3月期のGDPは過去の統計との位置づけになるとみられ、市場で材料視されることはないだろう。

2012年1-3月期GDP2次速報予測

1次速報実績

2012年1-3月期GDP2次速報予測 (%)		1次速報実績 (%)	
実質GDP	1.1	1.0	
(前期比年率)	4.4	4.1	
民間最終消費支出	1.1	1.1	
民間住宅	▲1.6	▲1.6	
民間企業設備	▲3.5	▲3.9	
民間在庫品増加(寄与度)	0.4	0.4	
政府最終消費支出	0.7	0.7	
公的固定資本形成	6.3	5.4	
財貨・サービスの輸出	2.9	2.9	
財貨・サービスの輸入	1.9	1.9	
名目GDP	1.1	1.0	
(前期比年率)	4.4	4.1	

※断りの無い場合、前期比(%)
(出所)内閣府「国民経済計算」

設備投資は前期比▲3.5%と、1次速報段階の同▲3.9%から小幅上方修正されると予想する。本日公表された法人企業統計では設備投資（名目）が季節調整済み前期比▲1.7%となった。QE推計において実施されている法季のサンプル要因を除去するための断層調整を行えば減少幅は拡大するが、1次速報段階での設備投資よりは悪化幅は小さい。また、GDP1次速報段階で反映されていなかった3月分の生産動態統計などが若干上振れたことなども踏まえると、GDP2次速報では設備投資は上方修正が見込まれる。

在庫投資については、法人企業統計の仕掛品在庫、原材料在庫が若干下振れた一方、流通在庫の減少幅が1次QE段階から縮小すると見込まれ、在庫投資の寄与度は1次速報（前期比寄与度：+0.4%Pt）から変化無しと予想する。

公共投資については、1次速報段階で未公表だった3月分の建設総合統計の結果を反映して前期比+6.3%と、1次速報段階の同+5.4%からさらに上方修正されると予想する。